

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科		
科目名称	歴史と社会						授業形態		講義	
科目コード	120230	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	新名 一仁								ICT活 用	
授業概要	「歴史を学ぶ」ということを、単に歴史書から知識を学ぶもの、あるいは年代を暗記するものであるかのような理解をしている人が多い。世の中には「日本史好き」「歴史好き」と呼ばれる人々が多く存在し、歴史書・歴史小説やテレビ番組、あるいはWebサイト等から様々な知識を得ることが出来る。また、高校受験・大学受験科目としての「歴史」を学び、年代や歴史用語を暗記した人も多いだろう。 しかし、こうした歴史的知識・教養を知ること、あるいは受験対策としての「歴史」と、学問としての歴史学とは全く別物である。 本講義では、現代の教科書などでの歴史、あるいは通俗的な歴史認識が、どのような研究に基づいて形成、変遷していったかを、古代から中世・近世にかけての都城の歴史を中心に学んでいく。そして、宮崎・鹿児島の歴史的特性を学び、現代宮崎県の地域性への影響を知る。									
関連する科目	なし									
授業の進め方 と方法	・ 毎回、配布資料とプロジェクターを使って、講義をおこなう。 ・ 冒頭、前回の講義についての疑問・質問について回答・解説する。 ・ 配布資料について解説し、重要事項については、プロジェクターに投影した内容をノートに記入。 ・ 最後に、講義についてのレポートを課し、次回講義についての質問に回答してもらう。									
授業計画 【第1回】	宮崎の成り立ち：古代の日向国の変遷、古代の日向と「神話」									
授業計画 【第2回】	大化の改新と「日本」・「天皇」号号									
授業計画 【第3回】	宮崎という地名の由来、荘園とは何か？島津荘									
授業計画 【第4回】	日向国の武士たち-島津氏、土持氏、伊東氏									
授業計画 【第5回】	中央と日向国-九州東海岸の海上交通									
授業計画 【第6回】	中世の対外関係と九州南部 その①									
授業計画 【第7回】	中世の対外関係と九州南部 その②									
授業計画 【第8回】	島津氏と伊東氏の対決-島津氏の三州統一									
授業計画 【第9回】	『上井覚兼日記』にみる戦国時代の宮崎 その①									
授業計画 【第10回】	『上井覚兼日記』にみる戦国時代の宮崎 その②									

授業計画 【第11回】	豊臣秀吉の九州征伐と日向「国分」（くにわけ）
授業計画 【第12回】	太閤検地と刀狩の意義
授業計画 【第13回】	関ヶ原の戦いと宮崎
授業計画 【第14回】	江戸幕府の鎖国と九州南部
授業計画 【第15回】	歴史的にみる宮崎らしさ：方言・県民性・地域性
授業の到達目標	1) 中学・高校教科書の内容の時代ごとの変化から、歴史認識の変遷と進化を理解する。 2) 中央からみた歴史と、宮崎・都城を中心とした歴史の違いについて理解する。 3) 宮崎・都城の歴史的特徴を理解し、これが現代の宮崎の地域性にどのような影響を与えたかを理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	
授業時間外学習【復習】	毎回講義の最後に次回で対象とする時代・内容を伝えるので、中学・高校時代の教科書を読んでおくか、図書館で概説書に目を通しておく（30分）。
課題に対する フィードバック	講義終了後、配布資料や講義中のメモを読み返し、理解度を深める（30分）。
評価方法・基準	下記のふたつで評価する。 1) 講義ごとのミニレポート 50% 2) 期末試験（持ち込み可） 50% ※また、適宜学外の博物館展示などの見学レポートを課す（任意）。
テキスト	プリント配布
参考書	・中学教科書（社会）、高校教科書（日本史） ・山本博文ほか『こんなに変わった歴史教科書』（新潮文庫） ・『宮崎県の歴史』（山川出版社） ・新名一仁編『現代語訳上井覚兼日記』1～4（ヒムカ出版） ・新名一仁『日向国山東河南の攻防』（笠廬社）
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス					開設学科	管理栄養学科／食品開発科学科／国際教養学科／研究科園芸学専攻		
科目名称	歴史と社会							授業形態	講義	
科目コード	120230	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	新名 一仁								ICT活用	
授業概要	「歴史を学ぶ」ということを、単に歴史書から知識を学ぶもの、あるいは年代を暗記するものであるかのような理解をしている人が多い。世の中には「日本史好き」「歴史好き」と呼ばれる人々が多く存在し、歴史書・歴史小説やテレビ番組、あるいはWebサイト等から様々な知識を得ることが出来る。また、高校受験・大学受験科目としての「歴史」を学び、年代や歴史用語を暗記した人も多いだろう。 しかし、こうした歴史的知識・教養を知ること、あるいは受験対策としての「歴史」と、学問としての歴史学とは全く別物である。本講義では、現代の教科書などでの歴史、あるいは通俗的な歴史認識が、どのような研究に基づいて形成、変遷していったかを、古代から中世・近世にかけての宮崎・都城の歴史を中心に学んでいく。そして、宮崎・鹿児島県の歴史的特性を学び、現代宮崎県の地域性への影響を知る。									
関連する科目	なし									
授業の進め方 と方法	・ 毎回、配布資料とプロジェクターを使って、講義をおこなう。 ・ 冒頭、前回の講義についての疑問・質問について回答・解説する。 ・ 配布資料について解説し、重要事項については、プロジェクターに投影した内容をノートに記入。 ・ 最後に、講義についてのレポートを課し、次回講義についての質問に回答してもらう。									
授業計画 【第1回】	宮崎の成り立ち：古代の日向国の変遷、古代の日向と「神話」									
授業計画 【第2回】	大化の改新と「日本」・「天皇」号号									
授業計画 【第3回】	宮崎という地名の由来、荘園とは何か？宇佐八幡宮領と八条院領									
授業計画 【第4回】	日向国の武士たち-島津氏、土持氏、伊東氏									
授業計画 【第5回】	中央と日向国-九州東海岸の海上交通									
授業計画 【第6回】	中世の対外関係と九州南部 その①									
授業計画 【第7回】	中世の対外関係と九州南部 その②									
授業計画 【第8回】	島津氏と伊東氏の対決-島津氏の三州統一									
授業計画 【第9回】	『上井覚兼日記』にみる戦国時代の宮崎 その①									
授業計画 【第10回】	『上井覚兼日記』にみる戦国時代の宮崎 その②									

授業計画 【第11回】	豊臣秀吉の九州征伐と日向「国分」（くにわけ）
授業計画 【第12回】	太閤検地と刀狩の意義
授業計画 【第13回】	関ヶ原の戦いと宮崎
授業計画 【第14回】	江戸幕府の鎖国と九州南部
授業計画 【第15回】	歴史的にみる宮崎らしさ：方言・県民性・地域性
授業の到達目標	1) 中学・高校教科書の内容の時代ごとの変化から、歴史認識の変遷と進化を理解する。 2) 中央からみた歴史と、宮崎を中心とした歴史の違いについて理解する。 3) 宮崎の歴史的特徴を理解し、これが現代の宮崎の地域性にどのような影響を与えたかを理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	
授業時間外学習【復習】	毎回講義の最後に次回で対象とする時代・内容を伝えるので、中学・高校時代の教科書を読んでおくか、図書館で概説書に目を通しておく（30分）。
課題に対する フィードバック	講義終了後、配布資料や講義中のメモを読み返し、理解度を深める（30分）。
評価方法・基準	下記のふたつで評価する。 1) 講義ごとのミニレポート 50% 2) 期末試験（持ち込み可） 50% ※また、適宜学外の博物館展示などの見学レポートを課す（任意）。
テキスト	プリント配布
参考書	・中学教科書（社会）、高校教科書（日本史） ・山本博文ほか『こんなに変わった歴史教科書』（新潮文庫） ・『宮崎県の歴史』（山川出版社） ・新名一仁編『現代語訳上井覚兼日記』1～4（ヒムカ出版） ・新名一仁『日向国山東河南の攻防』（笠廬社）
備考	